

マルチイメージ・カラーマッチング・プリントユーティリティ

SyncPrint Version 1.5

ユーザーガイド



SyncPrint Version 1.5 ユーザーガイド もくじ

■主な仕様■	4	●削除 Command + Delete	11
●対応する画像ファイル形式	4	●すべてを選択 Command +A	11
●取り扱い可能な画像サイズ	4	●選択/同一ページ内のすべて	11
●必要なコンピュータ環境	5	●選択/同一フォルダ画像のすべて	11
●アプリケーションメモリの設定	5	●選択/選択の逆転	11
●試用版の制限事項	5	●選択/選択の解除	11
●インストール方法	5		
■簡単な使い方■	6		
■メニューコマンドガイド■	8	■画像メニュー	12
■ファイルメニュー	9	●サイズ Command + G	12
●新規作成 ... Command + N	9	直接	12
●開く ... Command + O	9	コマ数	12
●閉じる Command + W	10	倍率	12
●保存 Command + S	10	解像度	12
●別名保存 ... Command + Shift + S	10	●トリミング ... Command + F	13
●画像の読み込み Command + E	10	●回転と鏡像/左 90 度 Command + Shift + L	13
●ページマージン ...	10	回転と鏡像/右 90 度 Command + Shift + R	13
●レイアウト用紙設定	10	●回転と鏡像/ 180 度	13
●環境設定 ...	10	●回転と鏡像/鏡像	13
●用紙設定 ...	10	●ラベル ... Command + L	13
●プリント ... Command + P	10	●キャプション ... Command + I	14
●終了 Command + Q	10	■レイアウトメニュー	14
■編集メニュー	11	●整列設定 ... Command + Shift + H	14
●取り消し Command + Z	11	●改行 Shift + Return	14
●カット Command + X	11	●改ページ Control + Return	14
●コピー Command + C	11	●並べ替え	14
●ペースト Command +V	11	●カットガイド線	15
●複製 Command + D	11	●重なり Command +(Shift) + (] [)	15
		●ヘッダ・フッタ ...	15
		●テキスト入力 ... Command + T	15
		●モード/自動整列・カスタム	16

■ カラーマネージメントメニュー-----	16
● 基本設定 ... Command + M -----	16
● 画像プロファイル Command + K-----	16
● 階調・彩度補正 -----	17
● カラーマッチング表示 Command + Y -----	17
■ 画面メニュー -----	18
● 拡大表示・縮小表示・全体表示 Command + (- *) -----	18
● グリッド設定 ... Command + Shift + B -----	18
● グリッドを表示 Command + Shift + G -----	18
● グリッドに吸着する Command + Shift + U -----	18
● ページジャンプ Command + J -----	18
■ ウィンドウメニュー-----	18
● 情報ブラウザを表示 Command + Shift + I-----	18
● ファインビューワを表示 Command + Shift + F -----	18
■ マウスドラッグ操作／キーボードショートカット -----	19
■ カラーマネージメント「基本設定」ダイアログについて-----	21
■ 「画像プロファイル設定」ダイアログについて -----	22

SyncPrint Version1.5J ユーザーガイド

はじめに

SyncPrint は、形式の異なる各種画像ファイルを一元的に管理し一覧表示させたり、一覧プリント、簡易レイアウトプリントができる「マルチイメージ・カラーマッチング・プリントユーティリティ」です。

SyncPrint は、簡単な操作で、RGB 形式、CMYK 形式、ならびにグレースケール形式の各種ファイルフォーマットの画像を、ページ上に配列し、ColorSync をフル活用カラーマッチング処理を施してプリントするユーティリティソフトです。

ページ上の配置には、あらかじめ定めた規則で自動的に配置する自動整列モード、ならびに一般のページレイアウトソフト同様に、ページ上に任意の大きさで自由に配置するカスタムレイアウトモードを兼ね備えています。

- 写真家にとっては、スキャン画像やデジタルカメラ画像の高精細インデックスプリントの出力に
- デザイナーにとってはラフレイアウトや部品画像の一覧整理に
- 製版・印刷会社にとってはカラーマネージメントと「バラ出し校正」に
- 出力サービスショップの方は、日常的な多点多数連続出力に

…などの用途にご利用いただくことを目指して開発しました。

主な仕様

●対応する画像ファイル形式

1：RGB 画像の場合

- ・ TIFF
- ・ JPEG
- ・ BMP
- ・ EPS (ただし EPS-JPEG には未対応)
- ・ Exif ヘッダーのついた JPEG 画像 (Exif ヘッダ情報は無視されます)
- ・ レイヤー付き PSD (ただし Photoshop の「環境設定/ファイルの保存」ダイアログにて、「Photoshop 形式で下位互換性を優先」を選択している状態で保存したファイルのみ)

2：CMYK 画像の場合

- ・ TIFF
- ・ レイヤー付き PSD (ただし Photoshop の「環境設定/ファイルの保存」ダイアログにて、「Photoshop 形式で下位互換性を優先」を選択している状態で保存したファイルのみ)
- ・ EPS (ただし EPS-JPEG には未対応)

3：グレースケール画像の場合

RGB 画像に準じますが、カラーマッチング処理はできません。

●取り扱い可能な画像サイズ

最大 1 辺が 30000 ピクセルまでの画像。1 辺が約 10000 ピクセルを越えると SyncPrint が内部処理にて画像をダウンサンプリングしますから若干の画質劣化が生じます。

巨大な画像サイズへの対応は、アプリケーションに確保したメモリ容量とマッキントッシュの空きメモリ容量に依存します。また、メモリ容量と複雑に関わって、一辺が約 4000 ピクセル超の画像で、QuickTime の機能制限により、出力エラーや出力画像に乱れが生ずる場合があります。

●必要なコンピュータ環境

- ・マッキントッシュ PowerPc G3 または G4
 - ・ディスプレイ 1024 × 768 以上を推奨 (800 × 600 でも使用可能)
 - ・アプリケーションメモリ容量 約 128 メガ以上
 - ・Mac OS9.x 以上を推奨
 - ・QuickTime Ver4.0 以上をインストールしていること (Apple の Web サイトから最新バージョンをダウンロードすることをお奨めします)
 - ・ColorSync3.0 以上
 - ・QuickDraw 系プリンタ (ポストスクリプト RIP プリンタの場合、RGB 画像を受け付けるモードのない CMYK-PS プリンタは使用できません)
- ※ SyncPrint はプリンタに向かって RGB 画像を送り出します。(たとえ CMYK 画像をレイアウトしても内部で CMYK カラーをシミュレーションした RGB カラーへとカラーマッチング変換します)
- ・AdobePS プリンタドライバを使って、RGB-PDF を書き出すことができます。

【注意】

OS X (Ver10.1.4 以上) 上では、「クラシック」アプリケーションとして動作します。このときのクラシック OS は、OS9.2.2 での動作を確認しています。

ただし、OS X 上のフォルダウインドウから 1 コマが数十メガバイト以上の複数画像ファイルを、ページ上にドロップした場合、一時的なメモリ不足などの理由で、アプリケーションが動作不能になることがあります。

OS X+OS9 での操作時に、画像を読み込む場合は、「ファイル」メニューの「画像読み込み」コマンドを使用することをおすすめします。

●アプリケーションメモリの設定

レイアウトした複数画像のうち、もっとも大きな 1 つの画像ファイルサイズ (未圧縮時) の約 3 倍を確保してください。しかし必須ではありません。

【注意】 アプリケーションを起動した状態での空きメモリ容量が不足している場合は、連続して多数ページを出力するときに、ページ数は少ないけれどもページサイズが大きい場合などに、メモリ不足となることがあります。この状態での空きメモリ容量は、おおむね 150 メガバイト以上確保することをおすすめします。

●インストール方法

解凍後の「SyncPrint」フォルダを、フォルダごと、ご自分のマッキントッシュの任意の場所にコピーしてください。「SyncPrint」フォルダ内の「SyncPrint 1.51」プログラムアイコンをダブルクリックすれば SyncPrint が起動します。

初回の起動画面では、下図のように「ユーザ登録」ウインドウが表示されます。試用版としてお使いいただく場合は、そのまま「OK」ボタンをクリックしてください。フル機能をお使いいただく場合は、任意の「ユーザ名」、「ユーザ ID」を正しく入力してから「OK」をクリックしてください。



【注意】 「SyncPrintProf」ならびに「Help」フォルダは、SyncPrint プログラムが存在するのと同じフォルダ階層に置いてください。これらフォルダの名称は変更しないでください。またフォルダの中身は移動させないでください。

●その他

OS 環境によっては、「カラーマネージメント」メニューの各ダイアログの「？」マークボタンクリックによるヘルプ表示にて PDF ドキュメント (アクロバットリーダー) が起動できないことがあります。このときは、「Help」フォルダ内の PDF ドキュメントを、アクロバットリーダーの「開く」コマンドにて直接指定してオープンしてください。

簡単な使い方

1：SyncPrint を起動します。起動直後に表示される初期画面をクリックするか10秒間待つと、次に進みます。

【注意】 初めて起動する場合は、5 ページ「インストール方法」のユーザ登録画面が表示されます。初回以降でも、フォルダを移動したり、プログラムファイルをコピーした場合は、再び「ユーザ登録画面」が表示されます。

2：「ファイル/新規作成」コマンドにて「レイアウト用紙設定」ダイアログを表示させます。



これらのボタンをクリックしてサブダイアログを表示させ、設定を変更できます。作業途中では、「ファイル/レイアウト用紙設定」コマンドにて設定変更ができます。

3：同ダイアログにて、「用紙」「マージン」「ヘッダ・フッタ」の各設定を任意に定め、OK クリックすると白紙ページがオープンされます。

4：2 ページに説明した SyncPrint が読み込み可能な画像形式の画像ファイルをファインダーからページにドラッグドロップします。フォルダごとドロップしても構いません。「ファイル/画像読み込み」によって、ファイルまたはフォルダを選択して読み込んで構いません。

【注意】 ● Exif ファイルは、一般 JPEG 画像と同様に読み込むことができますが、Exif ヘッダに記述されている各種情報を参照することはできません。

● OSX 上で動作する OS9.2 クラシック上で SyncPrint を活用する場合、数十個以上の大量の画像ファイルをドラッグ&ドロップ操作で読み込むと、SyncPrint が強制終了することがあります。ファイルメニューの「画像の読み込み」コマンドを活用して読み込んでください。

※前述の操作をすると、画像が次から次へとページに読み込まれます。

【注意】 画像ファイルにサムネール（プレビュー）画像が組み込まれている場合は高速に表示されます。デジタルカメラ画像などのようにサムネールが組み込まれていない場合は、画像の実ピクセルから表示用の画像を生成させますから、ピクセル総数に応じて、ちょうど Photoshop で画像をオープンするときのような速度になります。

右図は、マッキントッシュのデスクトップから、12コマの画像を複数選択してページ上にドラッグ&ドロップした直後の状態です。



5：任意の一つまたは複数の画像を選択して、「画像/サイズ」や「画像/ラベル」で任意の設定を行います。

※「画像/サイズ」コマンドでは、読み込まれている画像を選択して実行した場合は、その画像のサイズを変更します。選択せずに実行した場合は、以降に読み込む画像のサイズをプリセットします。

※「画像/ラベル」では、画像を選択している場合、その画像のラベル全体を表示/非表示の切換えだけができます。選択していない場合は、ページ内すべての画像のラベルの表示項目ごとの表示/非表示を設定できます。



画像を選択してから表示させた画像ラベルダイアログ



画像を選択せずに表示させた画像ラベルダイアログ

- 6：「画面／ファインビューワ」「画面／情報ブラウザ」にて、選択中の画像の高精細表示や詳細属性の閲覧ができます。
- 7：画像を選択して表示されるコーナーハンドルをドラッグすれば、縦横比を保った状態で画像の大きさを調整できます。複数選択していっきに変更することも可能です。自動整列レイアウトモード時に、この操作を行うと、画像サイズの変更に伴い、自動的に整列処理が行われます。
- 8：「レイアウト／整列設定」や「レイアウト／並べ替え（画像を複数選択する必要があります）」も試してみてください。
- 9：「カラーマネージメント／基本設定」ダイアログにて「プリント時の補正方法：」を正しく設定し、プリントします。このダイアログの設定方法については、巻末を参照してください。

【注意】

SyncPrintでは、画像を1つ選択して実行できるコマンド、複数選択して実行できるコマンド、画像を選択しなくても実行できるコマンドなどがあります。

これらは、画像の選択状態を変化させて、コマンドがグレーアウトしているかどうかで確認できます。

複数選択時に実行するコマンドのうち、ダイアログが表示される場合は、最後に選択した画像の各種情報がダイアログの設定アイテムに反映表示されます。

また、モニタ画面にレイアウト用紙ウインドウが表示されていない段階でも選択できるグレーアウトしていないコマンドは、これを選択し各種設定をした後に、いったん Sync-Print を終了⇒再起動させることで、以降の作業の初期状態（デフォルト）となります。（これは Quark XPress の初期設定の約束事に似ています）

メニューコマンドガイド

SyncPrint は、プロの使う道具としてのシンプルな操作性と高速な反応性を重視しています。

SyncPrint にはツールボックスはありません。大半の主要コマンドにはキーボードショートカットがあります。

The image displays several menu windows from the SyncPrint application:

- ファイル**: 新規作成... (⌘N), 開く... (⌘O), 閉じる (⌘W), 保存 (⌘S), 別名保存... (⇧⌘S), 画像の読み込み... (⌘E), レイアウト用紙設定..., 環境設定..., ページマージン..., 用紙設定..., プリント... (⌘P), 終了 (⌘Q)
- 編集**: 取り消し (⌘Z), カット (⌘X), コピー (⌘C), ペースト (⌘V), 複製 (⌘D), 削除 (⌘⌫), すべてを選択 (⌘A), 選択
- レイアウト**: サイズ... (⌘G), トリミング... (⌘F), 回転と鏡像..., ラベル... (⌘L), キャプション... (⌘I), 左 90 度 (⇧⌘L), 右 90 度 (⇧⌘R), 180 度, 鏡像
- レイアウトモード**: 整理設定... (⇧⌘H), 改行 (⇧⇩), 改ページ (⇧⇨), 並べ替え, カットガイド線..., 重なり, ヘッド・フッタ..., テキスト入力... (⌘T)
- レイアウトモード (サブメニュー)**: ファイル名順, フォルダ名順, 作成日時順, 修正日時順, 横ピクセル数順, 縦ピクセル数順, カラー形式順, ファイル形式順, ファイルサイズ順, 明るさ順, 順番の逆転, 最上層へ (⇧⌘]), 1つ上へ (⌘]), 1つ下へ (⌘[), 最下層へ (⇧⌘[), 自動整列, カスタム
- カラーマネージメント**: 基本設定... (⌘M), 画像プロファイル... (⌘K), 階調・彩度補正..., カラーマッチング表示 (⌘Y)
- 画面**: 拡大表示 (⌘+), 縮小表示 (⌘-), 全体表示 (⌘*), グリッド設定... (⇧⌘B), グリッドを表示 (⇧⌘G), グリッドに吸着する (⇧⌘U), ページジャンプ... (⌘J)
- ウィンドウ**: 情報ブラウザを表示 (⇧⌘I), ファインビューワを表示 (⇧⌘F), 風景 (⌘O), 人物 (⌘I)

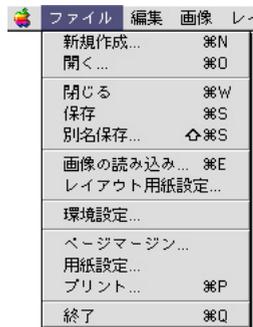
■ 重要 ■

各コマンドには：

- ページウィンドウがオープンされていない段階で実行できるもの (=起動初期値設定用)
- 画像や文字などのオブジェクトを選択していないと実行できないもの
- オブジェクトを1つだけ選択/複数を選択しているときに実行できるもの
- フリーレイアウトモードだけで実行できるものなどがあります。

これらの状態によって、コマンド文字がグレーアウトして、選択できなくなり、実行可能かどうかを使用者に知らせます。

「ファイル」メニュー



●新規作成 ... Command + N

SyncPrint を使って、画像のレイアウトをスタートする時にレイアウト用紙（ページ）に付帯する共通要素を設定する「レイアウト用紙設定」ダイアログをオープンします。

レイアウト用紙設定ダイアログには、下記のような設定アイテムがあり、これらを定めてから、OK ボタンをクリックすると画面上にレイアウト用紙が表示されます。



【A】用紙/サイズ

あらかじめ組み込まれている用紙サイズをポップアップメニューから選択します。このポップアップメニューは、「現在のプリント用紙設定を使う」チェックマークがオフのときにだけ選択できます。ポップアップメニューにない用紙サイズを設定したい場合は、「現在のプリント用紙設定を使う」チェックマークをオンにし、「変更」ボタンをクリックします。

【B】用紙/方向

「現在のプリント用紙設定を使う」チェックマークがオフのとき、用紙の縦長・横長を切り替えます。

【C】現在のプリント用紙設定を使う

「アップルメニュー/セクタ」にて選択されたプリンタによる「ファイルメニュー/用紙設定」ダイアログに定められた用紙設定をレイアウト用紙として採用します。この内容を変更したければ、左端の「変更...」ボタンをクリックし、プリンタドライバの用紙設定ダイアログを呼び出します。

【D】マージン

レイアウト用紙の天地左右の用紙端からのマージン距離を数値表示します。この設定内容を変更するには左端の「変更...」ボタンをクリックし、「マージン設定（初期値の変更）」ダイアログを呼び出します。マージンより外側には画像を配置できません。

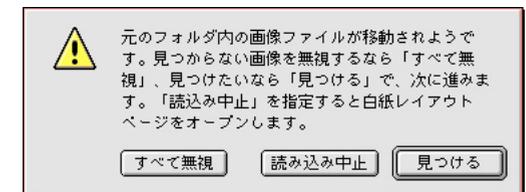
【E】ヘッダ・フッタ

レイアウト用紙の天辺・地辺にある全ページ共通文字であるヘッダやフッタのマージン情報を表示します。この設定内容を変更するには左端の「変更...」ボタンをクリックし、「ヘッダ・フッタ（初期値の変更）」ダイアログを呼び出します。

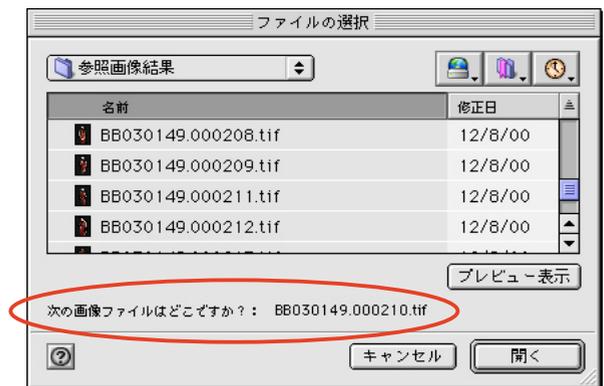
●開く... Command + O

SyncPrint で画像をレイアウトし、これを保存したレイアウトファイルを指定しオープンします。

レイアウトファイル内には実際の画像データは記録されておらず、その画像ファイルがどのフォルダにあるかだけを記録しています。そのため、いったん保存した後にフォルダ名を変更したり、画像ファイルを移動した場合は、SyncPrint ファイルをオープンするときに、下図のようなメッセージが表示され、「見つけ



る」ボタンをクリックすると下図のような「ファイルの選択」ダイアログが表示されます。



同ダイアログ底辺メッセージ領域に表示されている見つからないファイル名を探し出し、リストフィールドから選択後、「開く」ボタンをクリックすれば、その画像が読み込まれます。また、複数の画像ファイルが同様に見つからない場合は、繰り返し同じ操作を行います。

●閉じる Command + W

レイアウト作業途中のレイアウトウインドウを閉じます。

●保存 Command + S

レイアウト作業途中のレイアウトを保存します。

【注意】 試用版では、グレーアウトしたままで機能しません。

●別名保存 ... Command + Shift + S

レイアウト作業途中のレイアウトを、別のファイル名で保存します。

【注意】 試用版では、グレーアウトしたままで機能しません。

●画像の読み込み Command + E

レイアウト用紙上に画像を読み込みます。

画像読み込みダイアログでは、1つの画像をリストフィールドで選択して「選択」ボタンをクリックすれば、その画像ファイルが読み込まれます。

また、shift キーを併用して複数の画像を選択して「選択」ボタンをクリックすれば、それら複数の画像ファイルが読み込まれます。

さらに、フォルダを選択して「選択」ボタンをクリックすれば、そのフォルダ配下に属する全ての画像ファイルが読み込まれます。

●レイアウト用紙設定

前ページで説明した「新規レイアウト用紙」コマンドと同じ「レイアウト用紙設定」ダイアログを表示させます。

レイアウト作業途中であっても、このダイアログから設定内容を変更することができます。

「カスタムレイアウト」モード時に画像が完全に用紙の外にはみ出てしまうような変更を行うと、注意メッセージを表示します。

【メモ】 「カスタムレイアウト」モードについては、本書 16 ページを参照してください。

●環境設定 ...

SyncPrint を運用する、距離やサイズに関する単位（ミリまたはインチ）、ならびに画像を選択してキーボードの上下左右矢印キーをヒットしたときに画像を移動させる距離を設定します。



●ページマージン ...

作業中のレイアウト用紙の天地左右の用紙端から、有効レイアウト領域端までの距離を設定または変更します。この設定を作業途中で変更すると、画像の配列が変わってしまう（自動整列レイアウトモード時）、有効レイアウト領域外に完全にはみ出てしまう画像が強制的に位置移動されてしまう（カスタムレイアウトモード時）ことがありますので注意してください。

●用紙設定 ...

「アップルメニュー/セクタ」にて選択されたプリンタドライバの用紙設定ダイアログを表示させます。

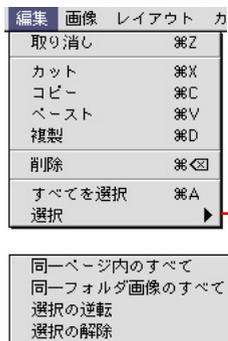
●プリント ... Command + P

「アップルメニュー/セクタ」にて選択されたプリンタドライバのプリントダイアログを表示させます。ダイアログは SyncPrint 用に拡張されており、拡張領域にはマージンや出力補正方法などの参照情報が表示されます。

●終了 Command + Q

SyncPrint を終了します。

「編集」メニュー



● 取り消し Command + Z

ひとつ前の操作を取り消し（アンドゥ）します。SyncPrint のアンドゥは、画像の削除など限定されたいくつかの操作だけに対して実行可能です。

● カット Command + X

選択した画像や文字オブジェクトを、クリップボードメモリにカットします。

● コピー Command + C

選択した画像や文字オブジェクトを、クリップボードメモリにコピーします。

【メモ】 SyncPrint で複数のページをオープンしておき、カット（コピー） & ペーストを行えば、画像の仕分けに便利です。

● ペースト Command + V

選択した画像や文字オブジェクトを、ペーストします。

ペーストされる位置は「自動整列」レイアウトモードの場合は、元画像の直後に配置されます。「カスタム」レイアウトモードの場合は、用紙の中央に配置されます。

「カスタム」レイアウトモード時に複数の画像を選択しカットまたはコピーし、ペーストすることによって、画像の一部が完全にレイアウト領域外にはみ出てしまう場合は、そのような画像だけを強制的に最寄りのレイアウト領域内に引き込んでペーストします。

別の作業ウィンドウへのペーストも可能です。

【メモ】 「自動整列」「カスタム」レイアウトモードについては、本書 16 ページを参照してください。

● 複製 Command + D

選択している画像を複製します。複製される位置は「自動整列」レイアウトモードの場合は、元画像の直後です。「カスタム」レイアウトモードの場合は、元画像のやや右下になります。

● 削除 Command + Delete

選択している画像を削除します。

● すべてを選択 Command + A

レイアウト作業途上にある全ページ内のすべての画像や文字オブジェクトを選択状態にします。

● 選択/同一ページ内のすべて

現在選択している画像のあるページ内のすべての画像や文字オブジェクトを選択状態にします。

● 選択/同一フォルダ画像のすべて

現在選択している1つの画像ファイルの所属するフォルダと同じフォルダにあるすべての画像を選択状態にします。

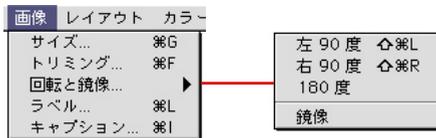
● 選択/選択の逆転

現在選択している画像や文字オブジェクトの選択を解除し、現在選択されていないオブジェクトのすべてを選択状態にします。

● 選択/選択の解除

現在選択されている画像や文字オブジェクトの選択を解除します。

「画像」メニュー



● サイズ Command + G

画像を読み込んでページに配置するときの画像のサイズを設定します。

ページウインドウを表示していない場合は、初期値を設定します。

画像を一つまたは複数選択して、このコマンドを実行すると、選択された画像にだけ効果が与えられます。

このコマンドを実行して表示されるダイアログには、4つのモードがあります。

[A] 直接

画像のページ上における実際のサイズを指定します。縦長・横長などの形状の異なる画像が内接する（長辺の）正方形を設定することになります。

[B] コマ数

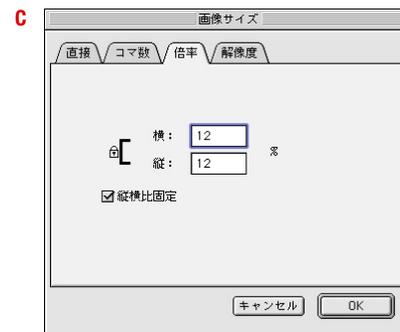
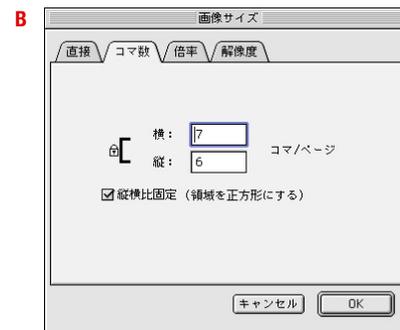
画像をページ上に横方向・縦方向に何コマ並べるかを指定します。

[C] 倍率

画像ファイル内に記述されている画像の仕上がりサイズに対しての拡大・縮小率を指定します。

[D] 解像度

画像ファイル内に記述されている画像解像度を無視し、ここで定めた画像解像度によって求められる仕上がりサイズに従って画像が配置されます。



【注意】 SyncPrintの各種数値入力欄に入力した数値は、ダイアログを閉じた後、再度ダイアログをオープンしたときに、72分の1インチ分の四捨五入誤差が発生します。

「直接」サイズ設定を行うと、対象となる画像のピクセル数の多少に関わらず、ここで指定したサイズ枠に内接するように配置されます。一定サイズの画像を並べたインデックスプリントの作成に便利です。

「コマ数」サイズ設定を行うと、対象となる画像のピクセル数の多少に関わらず、ここで横方向・縦方向のコマ数分の画像が配置されます。「直接」指定同様に、一定サイズの画像を並べたインデックスプリントの作成に便利です。

「倍率」サイズ設定を行うと、対象となる画像の仕上がりサイズに「倍率」を乗じたサイズで配置されます。各画像の相対的な大きさを把握できるプリントを得たい場合に便利です。

「解像度」サイズ設定を行うと、各種解像度の画像を、ここで指定した一律の解像度にて配置します。72ppiの画像などが、印刷用の大きな解像度でどのような大きさになるかを把握したプリントを得たい場合に便利です。

●トリミング... Command + F

選択した1つの画像をトリミングします。

ダイアログ上の画像の四辺のやや外側にマウスポインタを移動させると、ポインタが、フレームスライドポインタに変化します。この状態でドラッグ操作によりその辺をスライドさせると、対象の辺と対向する辺も同時にスライドしてトリミングされます。

shift キーを併用してドラッグすると、対象の辺だけがスライドして一辺だけをトリミングできます。

ある程度トリミングした後は、マウスポインタをトリミングされて明瞭に見えている画像内に移動すると、手のひらポインタに変化しますから、そのトリミング枠を維持したまま、画像内で位置を変更できます。

トリミングされて薄く反転表示されている領域の内、図の赤丸部分のコーナー領域にポインタを入れると、ポインタが  に変化します。この状態でドラッグすると、縦横比を維持したままトリミング枠を大きく/小さくできます。

トリミング操作が終われば、「OK」をクリックすると、ダイアログが閉じ、ページ上の画像がトリミングされます。

図中 **A** の、チェックボックスをオンにしてから、「OK」をクリックすると、画像自体はトリミングされず、画像上にトリミング枠線が表示されます。フォトグラフィアやデザイナーがトリミング指示書を作成する場合に便利です。

トリミング操作の途中では、ダイアログの右半分に各種数値が見えていますから、これを活用して数値制御することも可能です。



【注意】 トリミング操作時に表示されるマウスポインタマークは、画像のトリミング境界ではなく、境界よりも外側にマウスポインタがあるときに機能します。

●回転と鏡像/左 90 度 Command + Shift + L

回転と鏡像/右 90 度 Command + Shift + R

選択画像を、左右に 90 度回転させます。

●回転と鏡像/180 度

選択画像の天地を逆さまに回転させます。

●回転と鏡像/鏡像

選択画像を鏡に映しているようにミラー反転させます。

●ラベル... Command + L

ラベル設定ダイアログを表示させます。

1つ、または複数の画像選択時にダイアログを表示させた場合は、その画像底辺のラベル情報の表示/非表示を切り替え設定できます **【B】**。

画像を選択していない場合は、画像の底辺に表示されるラベル情報の個々のアイテムの表示・非表示を切り替えられます **【C】**。

ダイアログの「ラベル領域の最小幅」 **【D】** で、横幅が狭い画像に、文字数の多いラベル文字を「画像の最小幅に合わせる」か「最小幅を指定」して画像よりも外側にはみ出ることを許すかを設定します。



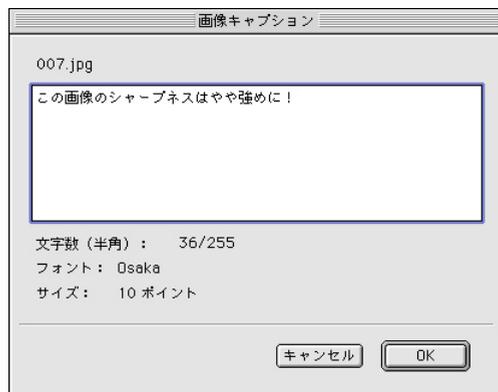
実際に表示されるラベルと、このダイアログの各アイテムは、並び方を一致させています。

●キャプション... Command + I

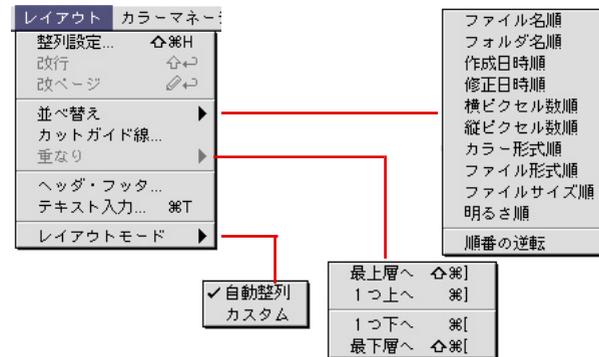
画像を選択してこのコマンドを実行すると、その画像にキャプションコメントを記入するダイアログが表示されます。文字の書体やサイズは、ラベル設定ダイアログで設定したものになります。

複数画像を選択して同文を複数画像のキャプションにすることもできます。ただし、このとき、ある画像にすでにキャプションが入力されている場合は、それが削除され、最後に選択した画像のキャプションだけがダイアログに表示され、その内容がすべての画像に反映されます。

キャプション文字列は、半角で 255 文字まで入力できます。キャプションは、ラベル設定ダイアログで、表示させるように設定しておかねばなりません。ファイル名やファイル形式などのラベル文字列とは異なり、キャプションは画像の幅に合わせて改行されて表示されます。



「レイアウト」メニュー

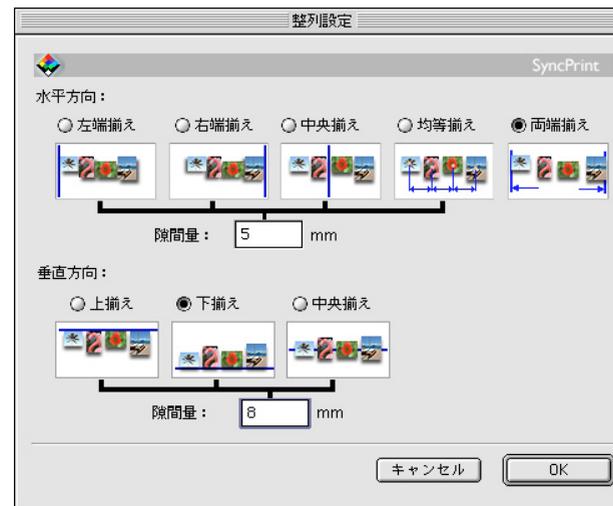


●整列設定 ... Command + Shift + H

画像の自動レイアウトにおける左右方向の画像の並べ方を「左揃え」「右揃え」「中央揃え」「均等揃え」「両端揃え」から選択・設定します。

また、上下方向の並べ方を「上揃え」「下揃え」「中央揃え」から選択・設定します。

これらの振る舞いは、ワープロソフトにおける文字の揃え方とほぼ同じで、ひとつの画像を 1 文字と考えると分かりやすいでしょう。



左右方向の「均等揃え」を選択した場合は、画像群の全画像の中心線が一致し、かつ最も狭い隙間が指定値になるように配置されます。

「両端揃え」を選択した場合は、「間隔量」の数値は無効となり、強制的に左右マージンラインにフィットされます。

●改行 Shift + Return

ある画像を 1 つだけ選択して、このコマンドを実行すると、その画像以降が強制的に次行に送り出されます。強制改行を止めたいときは、次行の先頭画像を選択して Delete キーを押します。

●改ページ Control + Return

ある画像を 1 つだけ選択して、このコマンドを実行すると、その画像以降が強制的に次ページに送り出されます。強制改ページを止めたいときは、次ページの先頭画像を選択して Delete キーを押します。

●並べ替え

自動レイアウトにおいて、画像をどのような順番で並べるかをサブメニューから選択します。連続した複数画像を選択してから実行すると、選択画像にだけその並べ替え規則を適用します。「明るさ順」は、G チャンネルのヒストグラムを解析して、おおよその明るさの順番に画像を並べ替えますが、正確なものではありません。同じシーンをブラケット撮影（露出を変えながら連続撮影）したようなコマを並べ替える場合に活用できます。

●カットガイド線

選択した複数画像に断裁用のガイド線を付加します。ただし、各画像のあいだの縦横の隙間が見通せる状態でないと機能しません。生成させた裁ち切り線は、それを含む白紙部分をクリックすると選択できます。選択後は、消去や移動ができます。定型サイズ画像を後から、カッターナイフなどで断裁する場合に活用することを目的とした機能です。

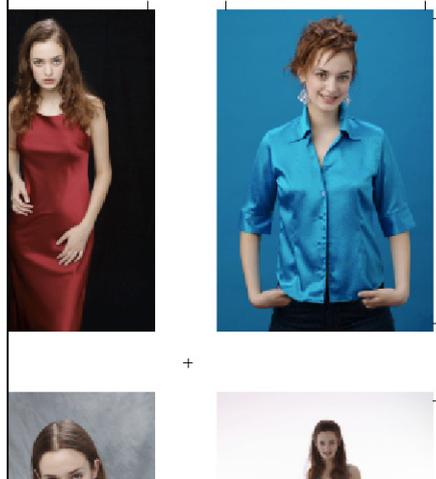


【注意】

生成された裁ち切り線は、画像同様に線上をクリック選択して消去・移動などができます。



A
B



●重なり Command +(Shift) + ([])

カスタムレイアウトモードにおいて、互いに重なった画像の重なり順番を変更します。

●ヘッダ・フッタ...

レイアウトページのヘッダ・フッタ文字列を設定します。フォントや行送り値などの書式は、カーソルが点滅している文字入力欄のあるヘッダまたはフッタのいずれか一方に設定されます。

「ヘッダ (フッタ) 領域幅」は、マージンライン上辺 (下辺) からの距離を入力します。画像が配置される領域が、この領域幅だけ小さくなります。

「日付」「時刻」「ページ」「総ページ」ボタンをクリックすると、ダイアログにはシンボル文字が表示されますが、ページ上には対応する数字が自動入力されるとともに、「日付」「時刻」の自動入力設定を行うと、作業を行った日時で固定するか、レイアウトページをオープンした日時に自動更新するかをたずねるアラートボックスが表示されますから、希望の設定を選択してください。

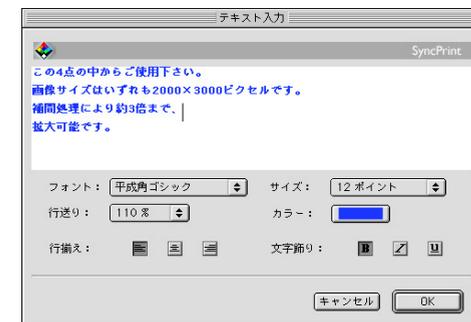


●テキスト入力... Command + T

自由に文字を配置します。表示されるダイアログで文字を入力します。OK をクリックすると、ページ中央に文字オブジェクトが表示されます。

ワープロソフトほどの文字組み版機能は持っていません。長文の改行は、文字列中において、ユーザがリターンキーを入力しないと改行されません。

ページに配置された文字列をダブルクリックすると、再び、このダイアログが表示されます。

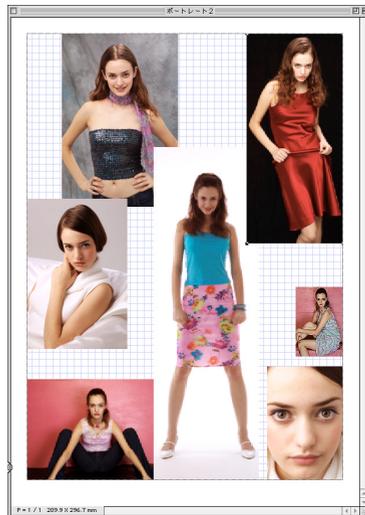


テキストを配置した例

●モード/自動整列・カスタム

SyncPrint の画像のレイアウトでは、画像を一定のルールで自動的に格子状に配置する「自動整列」モードと、通常のページレイアウトソフトのように自由に配置する「カスタム」モードがあります。このモードの切り替えには、「レイアウトメニュー/モード」を使います。

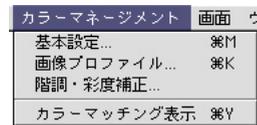
カスタムから自動整列に切り替えた場合は、カスタムにて位置決めした画像は再配置されてしまいますから注意してください。



カスタムレイアウト状態の一例 (グリッド表示)

カスタムレイアウトモードでは、一般のページレイアウトアプリケーション同様に、ページ上で自由に画像や文字オブジェクトをレイアウトできます。

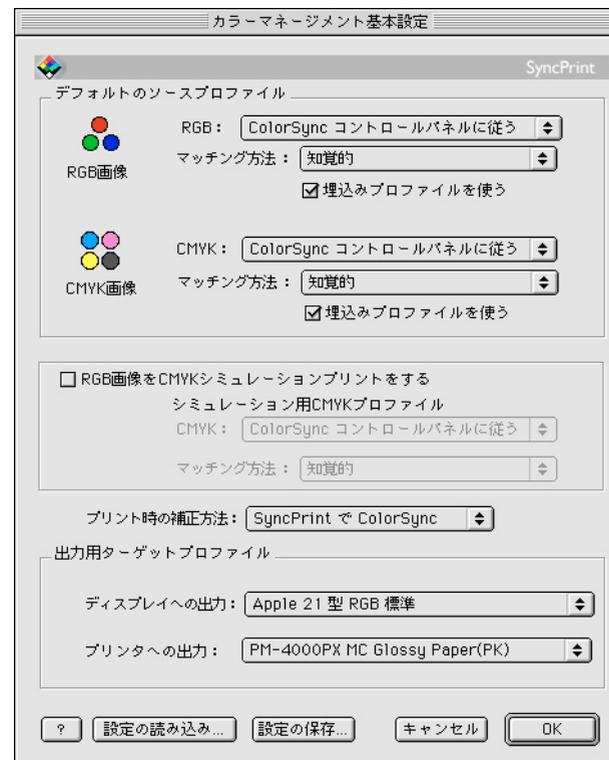
「カラーマネージメント」メニュー



●基本設定 ... Command + M

SyncPrint が行う各種カラーマネージメントの詳細を設定します。レイアウトウインドウが表示されていない時に、この設定を変更すると以後の作業の初期状態 (デフォルト) を設定したことになります。

【メモ】 設定の詳細については、SyncPrint の「Help」フォルダ内の「カラー基本設定.pdf」(本書 20 ページ以降にも掲載) をご覧ください。



●画像プロファイル Command + K

個々の画像のソースプロファイルを設定するダイアログを表示させます。画像をひとつまたは複数選択した状態のときに実行できるコマンドです。ただし、RGB/CMYK/グレースケール画像などを混在して選択した場合は、警告メッセージが表示されて実行できません。

また、画像上でダブルクリックするとこのダイアログが表示されます。

【メモ】 ダイアログのアイテムの設定の詳細については、SyncPrint の「Help」フォルダ内の「画像プロファイル設定.pdf」(本書 22 ページにも掲載) をご覧ください。

【メモ】 ソースプロファイルとは、あらゆる画像に定められるべき、その画像のカラー発色を規定する「素性」のことです。多くのデジタルカメラでは、sRGB を始めとして、カラースペース (= ソースプロファイル) が定まっています。



●階調・彩度補正

選択した画像の色調を補正します。

それぞれのスライダーは、「補正なし」を中心に、左右に3段階、非連続的（段階的）に設定できます。

- [A] 中間調補正：** 明度の中間調をトーンカーブ補正します。
- [B] コントラスト補正：** 明度コントラストを逆S字形～S字形のトーンカーブ補正します。
- [C] 彩度補正：** 中庸な有彩色色域を主体に、有彩色の彩度を補正します。
- [D] グレーの安定化：** 若干の偏色傾向があるグレーを純粋なグレーに補正します。ただし画像全体の彩度低下を伴いますから注意してください。
- [E] シャドウ部を出す：** 階調が飽和しがちなシャドウコントラストを高めます。



補正した結果を見るには、「カラーマネージメント/カラーマッチング表示」コマンドを実行するか、「ファインビュー」ウインドウの上部ボタンで「CMS+色調補正」を選び、表示の「更新」ボタンをクリックします。

表示の更新には数秒～十数秒かかる場合があります。処理時間は元画像のピクセル数に依存しています。

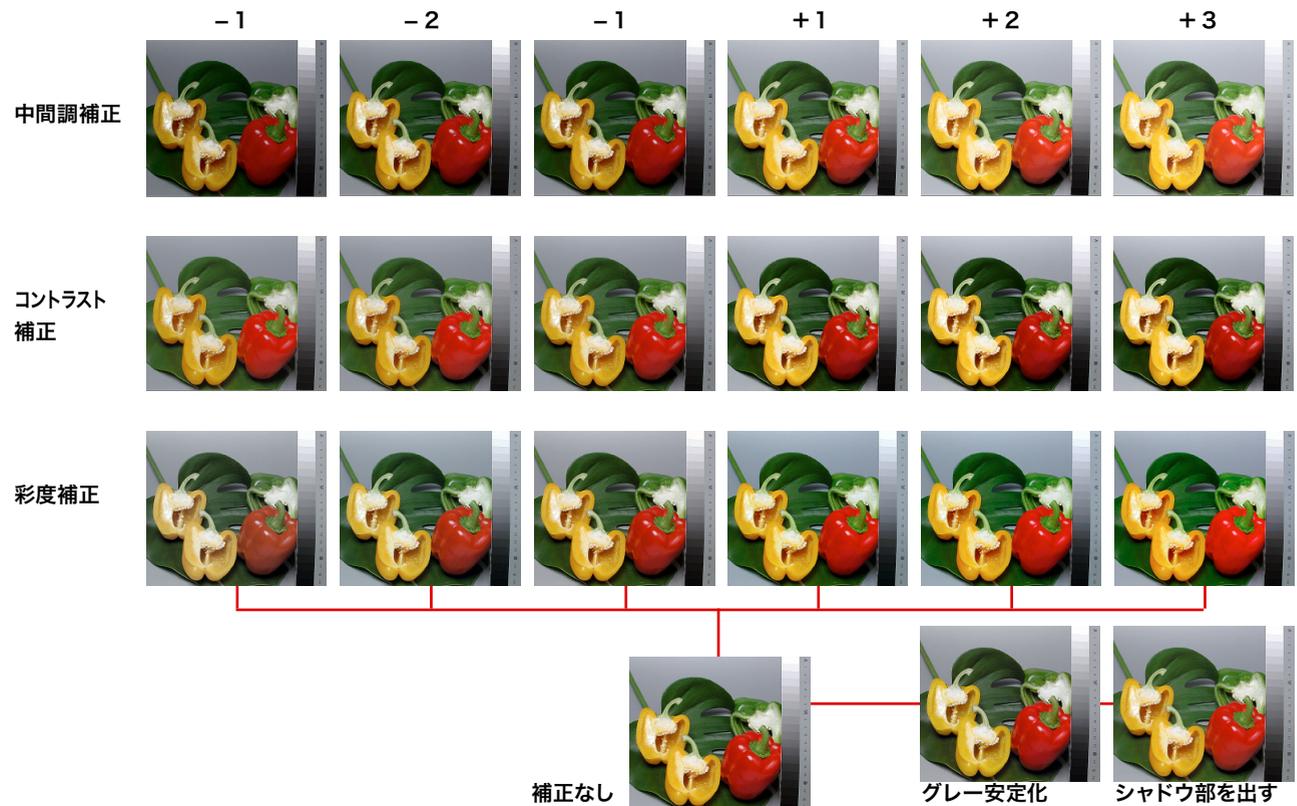
複数画像を選択して実行すれば、それらの画像全てについて同じ色調補正ができます。

この色調補正は、SyncPrint が内部的に ColorSync 機能を使って、Lab 画像に対して実行しますから、実際の画像ファイルには何ら変更は反映されません。

●カラーマッチング表示 Command + Y

「マッチング基本設定」「画像プロファイル」「色調補正」などの設定項目を変更した場合に、その変更を画像表示に反映させるコマンドです。

また、画像を読み込んだ直後に、画像のサイズによっては、ページ上の画像のピクセルが粗い表示になっていることがあります。このコマンドを実行すれば最適な表示に更新されます。



「画面」メニュー

画面	ウィンドウ	ヘルプ
拡大表示		⌘+
縮小表示		⌘-
全体表示		⌘*
グリッド設定...		⇧⌘B
グリッドを表示		⇧⌘G
グリッドに吸着する		⇧⌘U
ページジャンプ...		⌘J

● 拡大表示・縮小表示・全体表示 Command + (- *)

レイアウトページ画面を拡大・縮小・使用中のモニタ全面にフィットする最適サイズへと変倍します。

● グリッド設定 ... Command + Shift + B

カスタムレイアウトモードのときにだけ実行できるコマンドです。

「グリッドピッチ」設定では、縦に走るグリッドラインの横方向の間隔、横に走るグリッドラインの縦方向の間隔を個別に数値入力できます。

「グリッド表示」ラジオボタンを切り替えれば、ページ上のグリッドが画像や文字などの上層に表示/下層に表示を変更できます。

「グリッド基準原点」ラジオボタンでは、グリッドの発生する原点をページ上の左上コーナーまたは上辺の中央のいずれかに設定できます。

「オブジェクト基準原点」では、グリッドに吸着する文字や画像の吸着基準ポイントを、オブジェクトの左上コーナーか上辺中央かに設定できます。

【メモ】 グリッドの吸着をオンにしても、キーボードの上下左右矢印キーを使って、グリッドに吸着しない画像の位置決めを行えます。これを上手に活用すれば、粗いピッチのグリッドに吸着させておき、そこから任意の移動量だけずらした位置に画像を位置決めできます。

● グリッドを表示 Command + Shift + G

カスタムレイアウトモードのときにだけ実行できるコマンドです。グリッドラインの表示/非表示を切り替えます。

● グリッドに吸着する Command + Shift + U

カスタムレイアウトモードのときにだけ実行できるコマンドです。グリッドラインにオブジェクトを吸着させるか、させないかを切り替えます。

● ページジャンプ Command + J

複数のページが存在する場合に、任意のページにジャンプするページ数指定ダイアログを表示します。

【メモ】 SyncPrint はあらかじめページ数を定める機能は持っていません。カスタムレイアウトモードでは、最終ページにある画像または文字をページ底辺からはみ出るように配置すると、自動的に新しいページが追加されます。

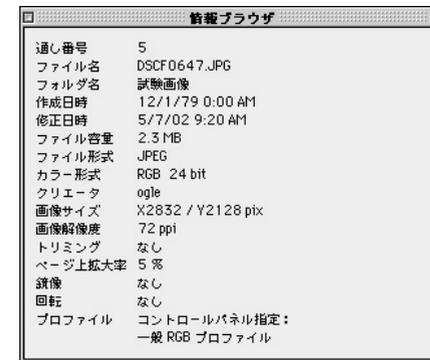


「ウィンドウ」メニュー

ウィンドウ	ヘルプ
情報ブラウザを表示	⇧⌘I
ファインビューワを表示	⇧⌘F
風景	⌘O
人物	⌘1

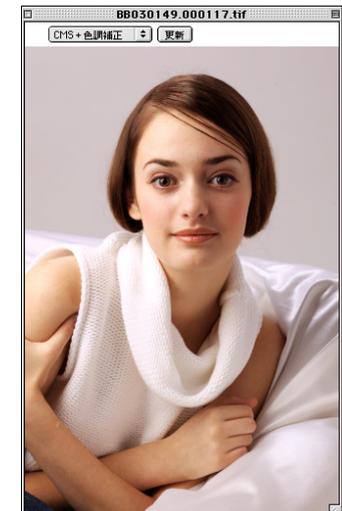
● 情報ブラウザを表示 Command + Shift + I

選択している画像のファイル名/フォルダ名/カラー形式/ピクセル数/他、ファイル属性情報を表示するウィンドウを「情報ブラウザ」と呼びます。本コマンドにてその表示・非表示を切り替えます。



● ファインビューワを表示 Command + Shift + F

選択している画像の高解像度詳細表示ウィンドウを「ファインビューワ」と呼びます。本コマンドにてその表示・非表示を切り替えます。



マウสดラッグ操作/キーボードショートカット

キーボードショートカットのうち、各メニューコマンド横に表示されているものは解説を省略します。

●自動整列レイアウトモード時：画像をドラッグして他の画像に重ねる

画像の順番を入れ替えることができます。

●画像上でダブルクリック

「画像プロファイル設定」ダイアログを表示させます。

●テキストオブジェクト上でダブルクリック

「テキスト入力」ダイアログを表示させます。

●カットガイド線上でダブルクリック

「カットガイド線」ダイアログを表示させます。

●カスタムレイアウトモード時：

画像/テキスト/カットガイド線を option + ドラッグ

これらオブジェクトを複製して配置します。

●画像/テキスト/カットガイド線を選択した状態で command + delete

選択したオブジェクトを消去します。

●自動整列レイアウトモード時：画像を1つ選択して上下左右矢印キー

選択した画像と隣り合う画像が選択されます。

●カスタムレイアウトモード時：オブジェクトを選択して上下左右矢印キー

「環境設定」で定めた移動量だけオブジェクトを移動させます。

●カスタムレイアウトモード時：

重複複数画像の重なり部分で control + クリック

クリック毎に重なり関係を順次変更します。

●カスタムレイアウトモード時：

オブジェクト上でマウスボタンを押し始めてから shift キー押し続けドラッグ

最初にドラッグ移動した段階の移動方向に近い、水平または垂直方向だけの移動が行えます。

●強制改行した次行先頭画像を選択後 Delete

強制改行を中止します。

●強制改ページした次ページ先頭画像を選択後 Delete

強制改ページを中止します。

カラーマネジメント「基本設定」ダイアログについて その1

ここでは、読み込みたいRGB画像のソースプロファイルを設定しておきます。

操作途中で変更した場合は、それ以降に読み込まれる画像に適用されます。すでに読み込んだ画像のプロファイルを変更するには、「画像プロファイル」コマンドを実行します。

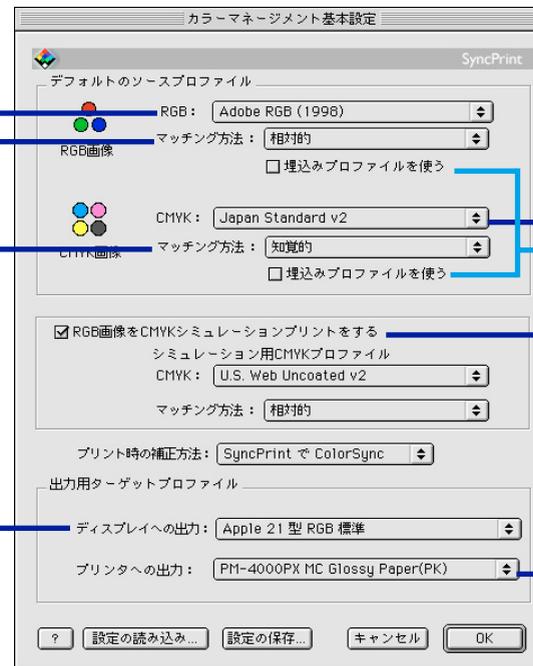
「ColorSync コントロールパネルに従う」を選んでおくと、ColorSync コントロールパネルの「RGBの省略時設定」欄に設定されたプロファイルが適用されます。

ここでは、カラーマッチングのマッチング（レンダリング）方法を設定します。通常は「知覚的」または「相対的」を設定してください。

「プロファイルの推奨値」を選ぶと、選択したプロファイル内部に記述されているマッチング方法が適用されます。

SyncPrint上で正確なカラーを見るには、この設定がとても大切です。自分のモニターのプロファイルを設定します。

「ColorSync コントロールパネルに従う」を選んでおくと、ColorSync コントロールパネルの「ディスプレイ」欄に設定されたプロファイルが適用されます。



ここでは、読み込みたいCMYK画像のプロファイルを設定しておきます。「マッチング方法」と「埋込みプロファイルを使う」については、本ページ左コラムのRGB欄の解説を参照下さい。

このチェックボックスをオンにすると、読み込んだ画像ファイルに、プロファイルが組み込まれていた場合には、そのプロファイルを優先適用されます。

埋め込まれているプロファイルが確実に信頼できる場合に活用しましょう。

このチェックボックスをオンにすると、RGB画像を内部的にCMYK画像に変換した、CMYKシミュレーションを行います。CMYKシミュレーションのためのCMYKプロファイルと、そのマッチング方法は、この下のポップアップ選択

カラープリンタから正確なカラーを出力するには、この設定がとても大切です。プリンタにはいろいろな出力方式がありますから、その出力方法に応じて、手動でプロファイルを選択したり、自動選択したりします。

詳しくは次ページを参照下さい。

カラーマネージメント「基本設定」ダイアログについて その2

カラープリンタから正確なカラーを出力するには、この設定がとても大切です。プリンタにはいろいろな出力方式がありますから、プリンタドライバ側の設定に応じた SyncPrint 側での「プリント時の補正方法」を切り替えます。「プリント時の補正方法」には右記のように 3 つの補正方法があります。



■ SyncPrint で ColorSync

自分が使っているカラープリンタの特性を厳密に定めて、カラーマッチングの精度を高めて出力したい場合に選択します。この選択肢を選ぶと、「デフォルトのターゲットプロファイル」の「プリンタ：」プロファイル選択ポップアップメニューが選択できるようになります。

このポップアップメニューから自分のプリンタと用紙の組合せに適合したプロファイルを選択します。SyncPrint は、すべてのカラーマッチング補正を、SyncPrint 内部で行います。

プリンタドライバ側では、すべてのドライバ側カラー補正処理をオフにしなければなりません（各社のプリンタのドキュメントを参照してください）。

■ ドライバで ColorSync

ある程度カラーマッチングができればよい場合に選択します。この選択肢を選ぶと、「デフォルトのターゲットプロファイル」の「プリンタ：」プロファイル欄は、自動的に ColorSync コントロールパネルで定めたディスプレイプロファイルになります。

SyncPrint は、すべてのカラー画像をいったんディスプレイカラースペースへと変換し、プリンタドライバへ送り出します。

プリンタドライバ側では、ColorSync を使用するように設定しておきます（各社のプリンタのドキュメントを参照してください）。これにより、プリンタドライバが受け取ったデータに対して、もう一度ディスプレイカラースペースからプリンタカラースペースへの変換を行います。

■ ドライバの独自補正

カラーマッチングは期待せず、平均的な好ましいプリント結果を得たい場合に選択します。この選択肢を選ぶと、「デフォルトのターゲットプロファイル」の「プリンタ：」プロファイル欄は、自動的にプリンタメーカーが標準的に使用している sRGB に準拠したプロファイルになります。

SyncPrint は、すべてのカラー画像をいったんこの SP_sRGB カラースペースへと変換し、プリンタドライバへ送り出します。

プリンタドライバ側は、自動補正、グラフィックモード、オートフォトファイン、オートフォトパーフェクトなど、好みに応じて設定しておきます。これにより、プリンタドライバ側で、それぞれの画像の特性に見合った好ましい出力結果が得られるように画像を補正します。

カラーマネージメント「画像プロファイル設定」ダイアログについて

「画像プロファイル」ダイアログでは、個々の画像のソースプロファイルを設定します。

ソースプロファイルとは、画像を制作した側がどのような条件でその画像のカラー表示を、正しく表示・出力することを前提としているか？を定義したプロファイルです。たとえば…

- 多くのコンパクトデジタルカメラは「sRGB」プロファイル
- 業務用デジタルカメラでは、「AdobeRGB」やその他のカメラメーカー独自のプロファイル
- スキャナ入力された画像では、オペレータが設定したプロファイル
- スクリーンキャプチャでは、そのモニタのプロファイル

…などがソースプロファイルになります。

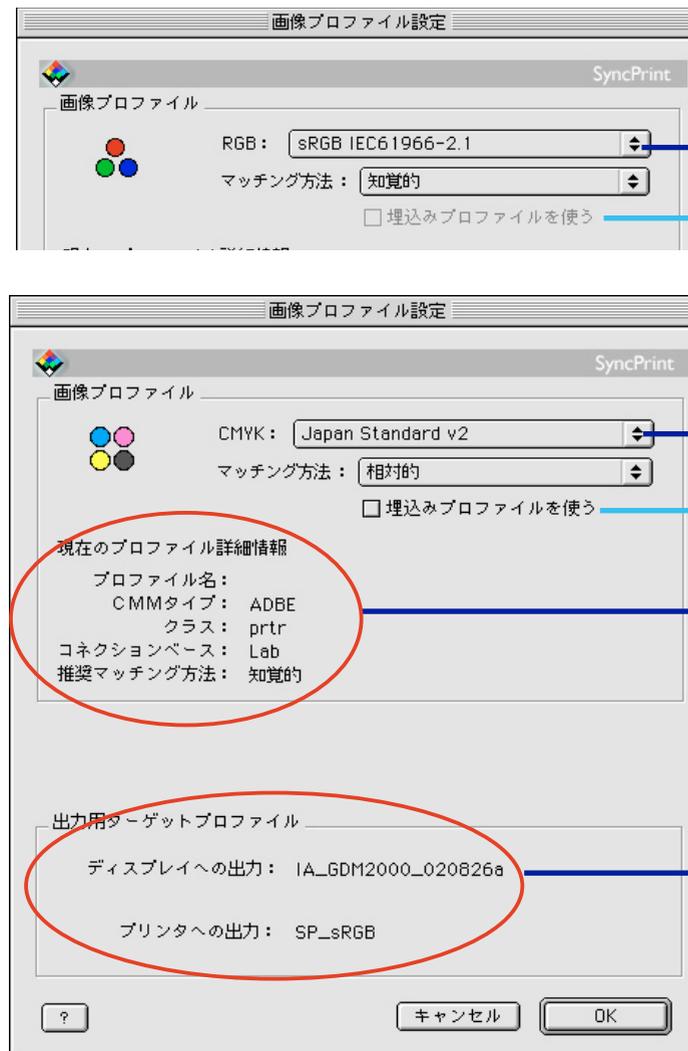
画像をページ上に読み込んだ直後は、「カラーマネージメント／基本設定」ダイアログで定めたRGBやCMYKのソースプロファイルが各画像に適用されています。

このダイアログでは、そのプロファイルを確認したり、必要に応じて変更することができます。

このダイアログは、画像を選択してから「カラーマネージメントメニュー／画像プロファイル」コマンドを実行することで表示されます。また、画像をダブルクリックしても表示されます。

画像を複数選択して表示させた場合は、最後に選択した画像に設定されているプロファイル情報が表示されます。

RGB画像とCMYK画像を混在して複数選択した状態では、このダイアログを呼び出すことはできません。



RGB画像を選択した場合は、RGBのソースプロファイルの設定変更ができるように、ダイアログ表示が変化します。

選択した画像に埋め込みプロファイルがある場合は、このチェックボックスが選択できるようになります。

CMYK画像を選択した場合は、CMYKのソースプロファイルの設定変更ができるように、ダイアログ表示が変化します。

ここには、プロファイル内部に記述されている主要情報が表示されます。

ここには、「カラーマッチング／基本設定」ダイアログで定めた、ディスプレイ表示用、プリント用のターゲットプロファイル名が表示されます。

SyncPrint Version1.5 ユーザーガイド 2003 年 4 月発行

このマニュアルは、SyncPrint Version 1.51 に対応しています。

企画・開発：インフォーツ株式会社、& 有限会社リカージョン